

日 時：平成 23 年 3 月 16 日（水）

東日本大震災の影響を受け事務所での理事会開催を中止とし、メールにて開催となった。

審議事項については、書面審議とした。

1. 理事行動報告

2月7日（月）	STI 予防委員会	真鍋，栗田
2月23日（水）	情報システム運営委員会	高城，鈴木
2月25日（金）	編集部会	高城，八木
2月28日（月）	学術部会	小松，荒木，蝶名林
3月1日（火）	表彰選考委員会	伊藤
3月2日（水）	四役会	下田，千葉，小松，藤浪，真鍋，原田，荒木，水越
3月3日（木）	渉外部会	栗田
3月3日（木）	会計部会	鈴木，水越
3月4日（金）	組織部会	千葉，原田，杉岡，寺島，多田，永瀬，栗田，河合
3月7日（月）	役員選出委員会	工藤

2. 報告事項

1) 平成 22 年度第 10 回理事会議事録についての内容確認

2) 各部局報告

○組織部

【報告事項】

<部長報告>

・第 9 回都臨技フォーラム参加人数報告

日時：平成 23 年 2 月 19 日（土）15:00～18:30

場所：堀場製作所 エクセレントホール

内容：これで安心！！採血業務 ―あなたの不安・悩みを解消しませんか！？―

参加人数：会員 177 名 非会員 49 名 その他 19 名 計 245 名

<東部地区>

・公開講演参加人数報告

日時：平成 23 年 2 月 26 日（土）14:30～17:00

場所：タワーホール船堀（桃源の間）

内容：知ってますか？ヘモグロビン A1c と糖尿病 ～この春，糖尿病診断基準が変わること～

参加人数：会員 55 名 非会員 9 名 計 64 名

<西部地区>

・特記事項なし

<南部地区>

・特記事項なし

<北部地区>

・特記事項なし

<中部地区>

・特記事項なし

<多摩地区>

・特記事項なし

【検討事項】

- ・都臨技オリエンテーションについて
日時：平成23年4月22日（金）19:00～
場所：社会保険中央病院
内容：各部署の紹介や入会のメリットをアナウンスする
- ・次期理事へ引き継ぐためのマニュアル作成を行う

○渉外部

【報告事項】

＜来年度活動予定について＞

- ・看護フェスタについて
日時：平成23年5月15日（日）12:00～16:00
会場：新宿西口広場イベントコーナー
内容：血糖測定 骨密度測定 検査相談室
参加者：各地区に要請（一般会員などを含む）参加協力予定人数25名
看護協会への要望事項：東京都への報告に参加団体名を記載することや開始時に紹介してもらうことを要望する
- ・学生対象講演会
日時：平成23年7月16日（土）
会場：社会保険中央総合病院 講堂
内容：病院その他で働く検査技師について（仮）
 - ①NSTで活躍する臨床検査技師
 - ②治験コーディネーターとして働く臨床検査技師
 - ③エンブリオリストとして働く臨床検査技師
- ・公開講演会
日時：12月初旬で検討中
会場：未定（一般の方が参加しやすい駅近の公的施設で検討中）
内容：世界エイズデーに協調して開催（日臨技公益委託事業）
その他：STI予防委員会と連携（街頭啓発活動）
来年度は予算削減で事業縮小傾向にあり、更に日臨技の公益委託事業として助成金が出るか否かが不確定であるため公開講演会の開催も未定である
渉外部として行う事業が少なくなり、幹事のモチベーションも下がってしまうとの意見も出た
- ・技師会PR
日時：平成23年12月～平成24年3月で検討中
内容：技師学校へ技師会をアピールする活動

【検討事項】

- ・平成24年度予算案について
来年度早々に平成24年度の事業計画が必要であり、新たな事業も含め渉外部として行いたいものを提案していかなければならない
- ・渉外部内規の見直しについて

○学術部

【報告事項】

＜公衆衛生検査研究班＞

- ・平成23年2月24日（木） 「人間ドックで診る眼科疾患（眼底検査を中心に）」
総参加者数：76人（会員67人 非会員6人 学生3人）

＜血液検査研究班＞

- ・平成23年2月16日（水） 「症例から学び取ろう～症例検討会～」
総参加者数：81人（会員81人）

<免疫血清検査研究班>

- ・平成 23 年 2 月 24 日（木） 「オカルトHBV感染とオカルトHCV感染」
総参加者数：50 人（会員 37 人 学生 13 人）

<生理検査研究班>

- ・平成 23 年 2 月 2 日（水） 「これからはじめる乳腺エコー ～描出に基礎と腫瘍性病変の見分け方～」
総参加者数：84 人（会員 84 人）
- ・平成 23 年 2 月 5 日（土） 「血管を診る」
総参加者数：48 人（会員 48 人）
- ・平成 23 年 2 月 14 日（月） 「関節エコーで何がみえる？ ～関節の基礎と症例を知ろう～」
総参加者数：24 人（会員 24 人）

<微生物検査研究班>

- ・平成 23 年 2 月 18 日（金） 「運がよいと遭遇する世界の感染症」
総参加者数：74 人（会員 74 人）

<病理細胞診検査研究班>

- ・平成 23 年 2 月 19 日（土） 「組織実習 ～乳腺病理～」
総参加者数：51 名（会員 46 人 非会員 5 人）

<輸血検査研究班>

- ・平成 23 年 2 月 8 日（火） 「移植に関するガイドラインとその実際」
総参加者数：62 人（会員 62 人）

<臨床化学検査研究班>

- ・平成 23 年 2 月 5 日（土） 6 日（日） 「第 18 回関東甲信地区臨床化学検査研究班研修会」
総参加者数：71 人（会員 71 人）

<臨床検査情報システム研究班>

- ・平成 23 年 2 月 10 日（木） 「採血支援システムの現状～自主開発から市販ソフトへの変更～」
総参加者数：40 人（会員 40 人）

<一般検査研究班>

- ・平成 23 年 2 月 25 日（金） 「異型細胞の探し方（捜し方）」
総参加者数：135 人（会員 134 人 非会員 1 人）

<関連事項>

- ・生涯教育制度について
行事予定表の間違いが起きているので、校正原稿の確認をしっかりと行うように促した
- ・データ標準化事業について
平成 22 年度都臨技精度管理調査報告会の開催
日時：平成 23 年 3 月 9 日（木） 18：30～
場所：東京医科歯科大学病院 臨床講堂

【討議事項】

- ・平成 22 年度決算について
平成 22 年度決算書作成に伴い各研修会が終了した時点で速やかに報告するよう促した
- ・平成 22 年度学会会計の締め
3 月 17 日と 18 日に都臨技事務所で行う
講師料支払いリストの提出方法について会計部と調整中である
- ・研修会アンケート調査について
新年度の研修会よりアンケート調査を開始することについて内容の確認を行った（一部の内容は編集部と調整中）
- ・都臨技学会の在り方検討委員会について
平成 22 年 2 月 22 日（火）に第 1 回委員会を開催した
都臨技学会の大きな柱として「大会長（学会長）に企画を一任」する方向性が出された
また本委員会では、学会の内容をどのようにするのか方向性を見出す話し合いがなされる場であることを委員同士確認した
- ・都臨技オリエンテーションの件
4 月 22 日（金）行われる都臨技オリエンテーションにおいて各研究班の紹介するようお願いした

- ・総会の議長協力について
予算総会および決算総会に向けて、議長の協力をそれぞれ研究班班長にお願いした
- ・学術部内規の見直しについて
- ・日本医学会協力について
生理検査研究班に多大なご協力を頂いた

○編集部

【報告事項】

- ・前回の議事録確認と5月号入稿状況確認

【検討事項】

- ・会誌について

シリーズ：3回分は決定（自衛隊・JAB・システム関係）

その他、移植コーディネーター・警視庁鑑識・体外受精に関わる技師に打診中である

研修会の要旨：講師料に含まれているため各講師には執筆してもらうように徹底する

特集と要旨：それぞれ目的を明確にし、特集と要旨を区別することを徹底する

- ・情報システム運営委員会について

メールインフォメーションは、研修会の案内や日程の変更など携帯電話に送信できる利点があるので、より多く活用するようにお知らせした

また、会誌表紙や目次、投稿規程などをホームページに掲載するようにする

○庶務部

【報告事項】

- ・現在の会員数及び賛助会員数の報告（平成23年2月28日現在）

会員数 4,091名 賛助会員数 80社

- ・新入会員3名が確認された

○会計部

【報告事項】

- ・平成23年2月の収支計算書、予算管理月報、他2表を作成・報告

- ・平成23年度会費未納について2月28日現在164名

- ・平成23年2月のおもな事業活動収支について

収入：雑収入（新春のつどいお祝い金）

支出：地域保健共催事業（中野まつり）、倫理高揚資質費（データ標準化）、管理費、雑費

- ・平成23年度入会金減免方法について

日臨技に減免納入の対応を確認する（ホームページにアナウンスできるように早急に対応する）

- ・平成23年度前期仮払い

4月13（水）14日（木） 19:00から事務所にて行う

- ・行動費請求

請求書様式の変更や行動費領収方法などを検討し、平成23年度からの変更実施を進める

- ・銀行口座の開設について

学術部研究班から要望されていた銀行口座の開設についての検討している

仮払い先ごとの開設は、会の会計運用上不都合があるため参加費納入などに使用できる口座を3~5開設し必要な都度使用できるようにすることとした（口座数や口座名義は引き続き確認、検討する）

○事務局

【活動報告】

2月10日(木) 合同施設連絡者会議「会費納入について・公益法人について」説明

2月17日(木) 私立医科大学臨床検査技師会へ後援及び名義使用の回答

2月18日(金) 平成23年度年会費についてHPへ掲載依頼

2月25日(金)~ 医学会総会・博覧会（EXPO2011）協力者の調整

【連絡事項】

- ・都内検査技師学校の卒業証書授与式への出席
- 3月9日(水) 13:00～ 東洋公衆衛生学院 小松副会長
- 3月12日(土) 10:00～ 昭和医療技術専門学校 下田会長
- 3月16日(水) 11:00～ 東京電子専門学校 藤浪副会長
- 3月16日(水) 13:00～ 東京医学技術専門学校 小松副会長
- 3月19日(土) 13:00～ 文京学院大学保健医療技術部 千葉副会長

3) 各委員会報告

○表彰選考委員会

【報告事項】

- ・第9回委員会議事録の確認

【検討事項】

- ・第63回保健文化賞（第一生命保険）候補者の推薦について
当会の公衆衛生検査研究班長等を通じて推薦の人選を依頼することとした
ホームページにも募集要項を掲載する
- ・厚生労働大臣表彰者の選考準備について
日臨技は創立60周年及び法人化50周年記念式典を平成23年11月11日(金)に挙行すると発表している
これに伴い厚生労働大臣表彰を行いたいとのことで、この推薦該当者の調査を行うこととした
- ・表彰規定の改正について
委員長から表彰規定の改正の趣旨説明があり、官報の法令及び日臨技の書式等に準拠して修正を行うこととした

○役員選出委員会

- ・次期役員選出公示のお知らせを、機関誌5月号ならびにホームページ掲載を予定している
- ・公示は平成23年7月初旬から行う予定である
- ・役員選出規程の見直しについて

○生涯教育制度実行委員会

【報告事項】

- ・生涯教育対象行事（2月）
都臨技研修会 16件 登録者数 1,104名 該当者なし 0名
- ・申告
会場研修 8件 登録者数 17名

○情報システム運営委員会

- ・前回委員会以降に更新した原稿の確認
- ・都臨技会誌で掲載していた原稿で下記をホームページに移行する
理事会議事録
インフォメーション
組織部・渉外部・各地区のページ
- ・理事関係で閲覧するパスワード付ページを作成する
- ・入稿原稿で格納場所が指定されていない原稿が来た場合、関連ページへの振り分けを担当委員が行う
また見出し文がない場合、作成する
- ・トップページのレイアウト変更（4月1日リリース予定）
- ・「会長の手帳」を削除して上に詰める
- ・「定款」を「定款・諸規程」に改める（今後、他の規程も掲載予定）
- ・「個人情報保護方針」を「理事会議事録」に変更
- ・「生涯教育研修制度」を「都臨技会誌」に変更
- ・「新型インフルエンザの対応」を削除
- ・メールインフォメーションについて
都臨技会誌5月号にメールインフォメーションの案内を掲載する

○STD 予防委員会

・委員会の名称変更について

「性感染症」の略語「STI」の浸透に伴い、来年度より委員会の名称を「STD 予防委員会」から「STI 予防委員会」へ変更することが2月の理事会で承認された

・委員会の常設化と規約の作成について

来年度より「STI 予防委員会」を常設の委員会とする

常設化にあたり、委員会の構成・STI 予防教室の講師派遣等に関する規約を文書化し理事会の承認を得る

・委員会日程の固定化

来年度より委員会の開催日時を偶数月の第2水曜日 19:00～に固定する

委員会開催に際し必ずしも理事の出席は必要ではないため、会場は都臨技事務所のほか幹事の所属施設を使用する可能性がある

・都立つばさ総合高校 STI 予防教室について

日時：3月15～23日のいずれか1日（午前または午後の2コマ）開催で学校側と協議中である

開催形式：2年生を対象、男女別に開催

講師とトレーニング：男性1名 女性3名の講師が必要

内容：従来通り STI と予防方法に加え、男子はコンドームの付け方、女子は子宮頸がん予防ワクチンに関する内容を盛り込む

学校よりスライドだけではなく目で見て理解出来るような（実験的な）内容の希望があり検討する

・来年度の STI 予防教室開催へ向けて

各地区、今年度 STI 予防教室を実施した学校へ来年度の開催について打診を行う

< 東部地区 > 日大第一高校および都立足立高校定時制および全日制へアプローチを行う

< 西部地区 > 日大鶴ヶ丘高校（学校側は3年に一度の開催を希望されている）

< 南部地区 > 大森学園高等学校および都立芝商業高等学校で開催準備中

< 北部地区 > 練馬工業高校で開催準備中

日大豊山中高、豊山女子高校へのアプローチを行う

その他、来年度は予防教室の日程により下田会長や千葉副会長に挨拶を依頼することを検討する

スライドに技師会のPRを加え、検査技師の仕事の紹介を冒頭で行う

3. 審議事項（震災によりメールにて開催、書面審議となった）

○議長と議事録署名人

・第11回理事会の議長に下田会長、議事録署名人に鈴木理事と蝶名林理事が選出された

①渉外部：新人の会費納入方法についての確認及び決定（事前資料 p2）

東京都では、初年度の入会金免除制度があるため日臨技への一括振込みの際、免除額を差し引いて入金で良いのか

後日、免除額分をバックするのか決定しておかなければならないのではないかと。

②庶務部：新入会員3名の承認

③平成23年度予算総会について

3月25日に予定されている平成23年度予算総会総会開催について、その是非を考えざるを得ない状況と認識している

これは震災による計画停電をはじめとした混乱した情勢を鑑みたことによる

定款では以下のとおりである

定期総会を3月、5月とする

予算については、年度前の総会議決としながらもやむを得ない状況の場合、理事会議決での暫定予算、その後に総会で暫定予算の承認と暫定予算中の執行の予算への反映を規定している

（定款20条、同31条、同32条）

④③を延期とした場合、必須となる暫定予算の審議を問う

⑤共催許可願い書 一般検査研究班より

平成23年5月14日（土） 14:30～18:00 「尿沈渣2010の改定ポイント」

⑥共催許可願い書 輸血検査研究班より

平成23年7月31日（日） 9:00～16:30 「平成23年度 輸血研究班実技講習会」

—メール審議回答書—

回答締め切り 3月18日（金）17:30 現在 16名回答有効投票16名

審議事項	具体内容	決	継続	否
①	新人の会費納入方法についての確認及び決定	7	9	0
②	新入会員3名の承認について	16	0	0
③	予定通り開催(可)か、延期(否)とするか	3	0	13
④	来年度予算案をそのまま暫定予算として採用する	15	1	0
⑤	一般検査研究班	16	0	0
⑥	輸血検査研究班	5	11	0

上記のとおり、③は延期となり④は承認された
一方、①と⑥については継続審議となった

平成23年3月16日（水）
（社）東京都臨床検査技師会

議長 下田 勝二 印

議事録署名人 鈴木 卓也 印

議事録署名人 蝶名林 浩 印